

2週間以上続く口内炎は **要**注意！

口腔がん

口腔がんとは

今年、有名タレントが「舌がん」の手術を公表して大きな話題となりました。そこでどんな病気なのか関心を持たれた方も多いのではないのでしょうか。「舌がん」とは、口の中にできるがん「口腔がん」の一種です。日本人の口腔がんの割合は、がんに罹患した全ての患者さんの1~3%といわれています。直接見て触れることができるので早期に発見されるものだと思われがちですが、実際はある程度進行してから受診される方が多いのが現状です。その理由として、他のがんと比べて認知度が低く、多様な症状を示すことが考えられます。健康な毎日のために口腔がんの認識を深め、定期的なチェックや予防に努めましょう。



口腔がんの種類

① 舌がん

舌にできるがんで、口腔がんの60%を占めるといわれています。歯にすれる舌の側面や裏側にできやすいのが特徴。

② 歯肉がん

歯肉の粘膜にできるがんで、口腔がんの30~40%を占めるといわれています。初期では歯肉の粘膜が赤くただれるなど、歯周病と症状が似ているので注意が必要。

③ 頬粘膜がん

唇や頬の内側の粘膜、その粘膜と歯肉間の溝や、奥歯の後ろの粘膜に発生するがんで、口腔がんの5~10%を占めるといわれています。進行すると、口が開きづらくなります。

④ 口底がん

舌と下顎の歯茎の間にできるがんで、口腔がんの5~10%を占めるといわれています。普段は舌に隠れて見えないため、知らぬ間に進行していることがあります。

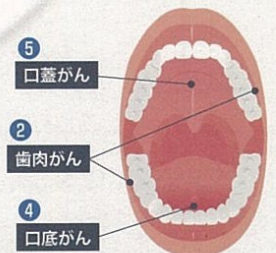
⑤ 口蓋がん

口の中の天井部分の粘膜にできるがんです。

⑥ 口唇がん

口唇ヘルペスのように見えますが、周囲にしこりを伴い、1週間以上続きます。

【口腔の前面】



【口腔の斜面】

